



Weekly Report

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを実践しみんな豊かな人生を

2013-2014 年度 R.I.会長

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ
 例会日 毎週水曜日 13:00-14:00
 例会場 ANA クラウンプラザホテル
 グランコート名古屋
 創立 2013年6月5日
 会長 八神 基 幹事 荒山 久美

第5回例会 2013年7月17日 水曜日 晴れ

斉唱 「それでこそロータリー」

出席者報告

会員数	33名
出席	27名
欠席	6名
Make Up	2名
出席率	84.85%

お時間に余裕がありましたら、サインだけではなく他クラブや親クラブである北ロータリークラブの例会にも参加してロータリークラブを積極的にお勉強しましょう。

ゲスト紹介

名古屋北ロータリークラブ

浦野 三男さん

田嶋 好博さん

水野 吉紹さん

ニコボックス報告

八神 基会長 卓話を致します。

安井 忠副会長 暑い日が続きます。ご自愛ください。

幹事報告

当クラブのホームページを開設しました。ウィークリーレポートは今後 WEB 公開となります。また、今後の行事やメーキャップ用の情報等についても公開

していますので、各自確認して下さい。

その他：7月31日実施の認証状伝達式についての連絡等。

各種行事の出欠票提出のお願い等。

本日クラブ管理運営委員会を12:00より開催し、各会員の担当やその役割についての説明をしました。また、7月31日の認証状伝達式での会場案内、受付等の役割分担も決定致しました。8月からは北ロータリークラブからのお手伝いはございません。名古屋アイリスロータリークラブ単体での各会員の協力が必要となってまいりますので、宜しくお願い致します。

これからの例会予定

【第6回例会】

7月24日 水曜日 13:00-14:00

ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋
 認証伝達式のリハーサル

【第7回例会】

7月31日 水曜日 12:00-14:30

ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋
 認証状伝達式例会

当日は各自 11:45 までには会場に来て先に食事を済ませて、伝達式に備えてください。伝達式終了後に写真撮影がありますので、終了は 14:30 頃になる予定です。

本日の卓話

名古屋アイリスロータリークラブ会長

八神 基さん

「自己紹介と私の職業について」

☆八神の名前 中国でモテル＝八神仙 日本では七福神

興味を持たれる八神純子との繋がり？ 親戚で又従兄妹です。私の系統の八神は、明治初めに名古屋へ。総本家は今も名古屋西インターチェンジの辺り大治町砂子にあります。元来は岐阜県羽島市桑原町八神で、以前は名鉄竹鼻線の八神駅があり、終点が1つ南の大須でした。元の大須観音の所在地です。もっとも昔は島根県に今も地名が残る八神が発祥の地だったようです。

☆基の命名 12月25日の生まれはキリスト＝基督から一字を？ それは？ですが、漢字一字で左右対称の文字を探していて“基”を思いついたと父から聞きました。昭和20年の12月ですから終戦の年末近く、千種区城山町で生まれました。名古屋の中心部は米軍の爆撃を避けるため、大勢の人々が池下から城山・本山や八事方面にかけて引越ししていたようです。父親は当時三菱発動機製作所で陸軍少尉待遇として航空機のエンジンの生産手配をしていました。二度目の召集は受けませんでしたので、終戦の混乱時とは言え、私の生産に励めたようです。

☆学歴 その後5歳で名古屋市立第一幼稚園に通う間に、もともとの中区京町、今の丸の内3丁目へ住まいを移しました。小学校はすぐ近くの名城小学校へ、中学校から高校までは東海へ通っていました。中高時代は 弁論部・剣道部を1、2年 美術部は高校の間ずっと部室員でした。今に至る趣味の写真やクラシック音楽、読書はこの時代からです。東海OBの方はご存知ですが、高校では学力によるクラス分けがあり、私は出来ん坊組のB群でした。でも歴史と現代国語ではスパーAクラスでした。そのお陰で何とか現役で慶応義塾大学の法学部に一次補欠で合格できました。慶応ボーイとは程遠い貧乏学生の暮らしでした。

クラブはワンダーフォーゲル部と三田レコード鑑賞会で音楽を聴く学生生活でした。4年生となり、ゼミの指導教授の中村菊男先生から日本興業銀行への就職を薦められました。迷いに迷いましたが、先は家業に就く身ですので、父親の薦めに従い修行先の大阪へ行きました。

☆職歴 大阪は守口市にある佐竹科学機器工業(株)でした。この佐竹市太郎社長は立志伝中の人物で一年間とてもいい勉強をさせていただきました。当時はたしか2万円を切る月給で手取りは1万5千円だったと記憶します。そこから名古屋へ戻ります。(社)中部産業連盟の経営後継者養成セミナーで一年間、経営コンサルタントの先生方と一緒に過ごしました。中でも豊橋の小嶋哲也さんから大きな影響を受け、一年半後にはアメリカへ向かいました。黄金の60年代の輝けるアメリカ！どうしても行きたかった国でした。オレゴン州のポートランドで学生として一年間、それから3~4ヶ月掛けてグレイハウンドバスで、アメリカをぐるりと巡ってきました。その間に死に掛けた事故に合い、私の今は神様から授けられた二度目の人生だと思っています。帰国後は中部産業連盟時代に知った達磨さんのような中尾一磨社長のいる高千穂通信機器製作所へ押しかけ社員にさせていただき、ここでは経理の仕事と社長の使い走りをさせてもらいました。ここでも一年間ご厄介になり、昭和47年の春26歳の時、東芝ベックマン社の名古屋営業所で営業の修行をさせていただきました。ここの所長、井上久さんも忘れられない人です。ほぼ毎晩営業マンを誘ってメシ~飲み屋へ、時にはマージャン。若かったとはいえ、私もよく体とお金ももっていたものだと、今でも感心します。翌昭和48年、オイルショックが、わが国を襲った年です。原油価格の値上げから始まる狂乱物価の嵐でした。父親の会社も一転して苦境へ転落、社内で労働組合ができ大騒ぎ、「飼い犬に手を噛まれた」もう会社は清算するしかないという父を鎮め、会社へ戻りました。当社は学校など官公庁の需要に応える事業ですので、前年度には予算が決まっている。そこで3割も仕入れ値や費用が値上がりすると利益が取れない。

銀行への返済繰り延べ交渉とか労組が息巻く社内の調整とかで散々な目に遭いましたが、それは反って経営者となる試練を神様が与えてくれたと今では感謝しています。

☆家族 当時はその上、結納を済ませていて、今の家内との結婚を控え、まさに人生の一大局面でした。昨年12月に名古屋観光ホテルで綾小路きみまろのイベントがあり、一度聞いてみようと思家内と出向きました。抱腹絶倒のアツという間の90分でしたが、私達はちょうど今年で「あれから40年！」です。子供は昭和50年生まれの子。この子は中学校から親元を離れ、富士山の麓にある聖心女子学院へ行きました。大学は東京ですからそのまま就職などとすると、名古屋へは帰らなくなる事態を恐れ、大学入学時に「卒業後は必ず帰ります」と一筆取っておきましたが、どの道、自宅から通勤できない女子は就職が難しいだろうと、弊社メインバンクの当時の東海銀行へ手を回しておきました。幸いにも採用され、本店で役員秘書をしている間、三和銀行と合併となり、東海の本店にも三和からの異動組が来まして、そこで娘婿と知り合い一緒になったのですが、婿が私の承諾をもらいにきた時、「銀行を辞めてうちに来るなら許すが、出来ないなら娘はやれんなあ」とムチャを言いましたが、いま立派に私の後を継いで社長職の2年目です。孫は7歳になるこの女の子一人です。この子は不思議なことに亡き母の17回忌明けの同じ日に生まれました。まさかの生まれ変わり??子供のもう一人は長男です。私と同じ東海中・高校を出て、学習院から早稲田と渡り歩き、しかも途中で辞め、国会議員の秘書を経験し、いま弊社で下積み社員の苦勞をさせています。来月で35歳となりますから、いい加減に身を固めよと言っていますが、束縛されるのがイヤで“面倒くさい!”で困っています。どなたかアラサーのいいお嬢さんをご存知でしたら是非ご紹介ください。そうそう家内です。京おんなではありますが、いたってガサツ者。ただ何事にも手は抜かない、しっかり者です。一番いいところはクヨクヨしない性格です。家内とは年に一度は海外へ出掛けています。この旅行中に写真を撮るのを楽しみにしています。

☆さて、職業紹介です。(株)ヤガミは昭和22年6月の設立です。祖父の代やその前の代の歴史はありますが、戦時中に米軍の焼夷弾で総て焼き尽くされ灰燼に帰しました。始めに話しました八神純子の親父さんが会長をしている病院向けの事業をしている会社とは同じルーツです。この八神純子ちゃんとは子供の頃は盆暮れなどでは行き来があり、人前で歌ったり踊ったりこまっちゃくれたウルサイガキだなあと思った記憶があります。長じて純子の父親が売り出し用のドーナツ盤のレコードをばら撒いてくれと一時、持って来ていました。少し名が売れて友人からチケットやサインを頼まれて、その大叔父に連絡すると、そんなのはチケットセンターで買ってチョウ!でおしまい。アホらしくなって、サインも私が適当に書いて友人に渡したら、嬉しそうに持って帰ったのには今でも心がチョッと痛みます。そうそう職業紹介でした。戦前に本家筋が手掛けていた理化学機器を承継することで事業を始めたのは昭和22年ですから、今年で66年です。戦後日本の復興に欠かせない科学技術の振興策の1つとして、初等中等教育での理科実験や観察を通して、国民の科学的素養を育て育成するのをねらいとして、昭和28年に議員立法により理科教育振興法が施行され、順次全国の学校で理科機器の整備が始まりました。この学校での理科学習に必要な物理・化学・生物・地学の機械器具の提供が弊社の基盤事業です。国と地方自治体予算折半による理科教育振興法での整備事業は今年でちょうど60年となりますが、未だまだ平均整備率は30パーセント台と低位にありますし、先生方の理科教育への熱意が相対的に下がり続けているのが、とても心配です。この先、日本からは今までのようにノーベル賞受賞者は出て来ないんじゃないかと危惧しているのが、学校での理科教育の実態です。

私は自分の職業を通して、わが国の理科教育の下支え・お役立ちが出来ればと、公益社団法人日本理科教育振興協会の副会長職を務めています。もちろん無給の手弁当です。

弊社では、この理科機器の生産技術を応用して、学校での健康診断用の測定器や保健室の

備品の提供が第二の事業分野です。第三は学校の特別教室用の家具、たとえば実験台とか調理実習台・収納用の大型戸棚類です。別の分野では、10 数年前から救急蘇生訓練用の模擬人体＝JAMY人形を発売しました。特に自動車の運転免許取得時、3 時間の講義と実技が必須科目となり、一挙に市場が広がりました。こういった救急の世界ではノルウェーに一日の長があり、どうしてもノルウェーの物の焼き直しの製品になりがちで、弊社が開発した 1 号品もそうでした。そこで早速、在日ノルウェー大使館の事務官からお話したいことがあるからお越しく下さいとの丁寧なご招待状が届きました。回答は、もちろん大使館外でしたら、いくらでもお会いしますが、弊社は日本法人ですので国外となる場所には交渉に参りませんと蹴つたらそれっきりでした。この救急救命分野では心配停止を救う目的のAEDも取り扱っています。世界 3 大メーカー品の国内ディーラーです。弊社の事業分野で他には、産業用の保温加温ヒーターがあります。いわゆる工業向けの電気ヒーターです。また、家具の派生からはモバイル機器やカメラの警報機能つき展示台のオリジナル商品が一番新しい分野です。

12 年前です。スイスのグローバル企業に買収されていたある会社を日本企業として買い戻しました。連結経営の子会社となる、本社を埼玉県に置く、平山製作所です。来年で創立 90 年となる、滅菌器でのわが国の草分け的な会社で、過去から長くブランドが通用し、今でも海外への輸出が売上げの半分です。ここでは半導体など電子部材の寿命測定装置も生産しています。これを生産できるメーカーは 3 社しかありません。しかし今、この分野は半導体不況で苦しんでいます。

弊社は平成 8 年 2 月に、名古屋証券取引所 2 部で株式の公開を行いました。上場です。

あの頃は時代も時代で、ずいぶん持て囃されましたし、経営者としての達成感を味わったつもりでした。あれから 17 年、慣れもあるのですが、あの時の熱は何だったんだろうとすら思います。ただ言えるのは、確実に信用力は上がるし、社員採用もラク。何よりも連帯保証人の印鑑を押さなくても済むことです。一般論で、世襲制は遅れているなどと気楽に言う向きが

ありますが、銀行などが保証人を要求する間は世襲制は当然で、世襲しかないと思います。

会社へ戻った若い時分、ずいぶんと労働問題で苦しみました。そんなことから今では名古屋地方裁判所で労働審判員をしています。これは最高裁判所長官から任命を受ける、特別国家公務員職です。ヘンな振る舞いは厳禁！と、お達しをいただいています。

☆さて 私のロータリー歴です。

私は、今回 I R I S へ移籍した理由は既にお話いたしましたように、地区の拡大委員会、ここでの仕事は新しいロータリークラブを立ち上げるお手伝いをする事です。たまたま今年の 6 月までこの拡大委員会の委員であったことから、チャーターメンバーとして移籍をする羽目となりました。私は 1990 年 4 月に名古屋栄ロータリークラブが出来た時もチャーターメンバーでした。チャーターメンバーの誇りを二度味わうことができ、大感謝の気持ちです。栄クラブは 53 名でのスタートでした。創立会長・初代会長は、大須ういろうの山田昇平さんでした。もう亡くなっておられます。山田さんは真にロータリアンらしい雰囲気身に纏った紳士でした。設立時には、会長の他にロータリー歴のある会員はおらず、ヨチヨチ歩き・試行錯誤からのスタートでしたが、記憶を辿ると、5 年もするとシッカリとした活動が自前で出来るようになってくると思います。山田会長は折を見ては、私達ヒヨッコ会員に向かい、ロータリー活動を・ロータリー精神を説き、そして常にロータリアンたれ！と話し掛けられていました。いつか機会があれば、ご紹介したいと思います。

私は栄クラブの第 19 代の会長を務めました。2007～2008 年ですから 6 年前です。

“ロータリーモメント”というロータリーの言葉があります。ロータリーに目覚めたきっかけということだと思います。私の場合は、当時 2760 地区だけの特別プログラムでしたが、タイ国のチャンマイ地区から国立チェンマイ大学の日本語学科の卒業生を、一年間に亘って名古屋 YWCA で日本語のブラッシュアップをしながら、日本の大学院へ進学する手助けをしよう

との事業がありました。栄クラブが受け入れクラブとなって、その年度のクラブの委員会構成で、ロータリー財団委員長であった私が一年間、特別奨学生の面倒を見ることとなりました。自宅で3ヶ月間、その後は会員の所有する古マンションで残りの9ヶ月、その間も週末には我が家で過ごさせました。京都や東京へも連れて行きました。コンサートやロータリーの集いにもよく連れて行きました。本人は生憎と希望の大学院への進学は叶わず、帰国することとなりましたが、タイ国の日本企業で通訳兼コーチ役として活躍しています。帰国してもう9年となりますが、今でも毎年正月には「お父さん、おめでとうございます」と電話で新年の挨拶をくれています。これが最初のロータリーモメントでした。

二つ目はクラブで幹事を引き受けた時です。幹事はクラブ活動のカナメです。幹事次第でクラブは眠ったり・生き返ったりします。委員長などクラブでの仕事を受けて、その責任をちゃんと果たそうと努める中で、ロータリーに目覚めるものと思います。

私の三つ目は会長を務めた時でした。これも前にお話したことですが、会長就任前は会長エレクトと呼ばれます。エレクトから会長になる直前の事でした。斉藤PDGがガバナー月信に書かれた文章を見て飛び上がりました。そこには「会長がロータリーを語らずして誰がロータリーを語るのか？会長挨拶で自分の趣味の話や新聞ダネを適当に話してお茶を濁すなどは、不埒な姿勢と言わざるを得ない」私もそんな程度の会長挨拶で一年間を無事に済ませればいいやと思っていた矢先、これは大変だ！ロータリーを勉強せねば！と思い、〈ロータリー情報マニュアル〉を傍において勉強しました。お陰さまでロータリーの輪郭は何とか理解できるようにはなりました。これも痛いロータリーモメントでした。地区での役割を受けるようになったのもロータリーモメントを感じたからです。今年度は地区の総務委員会に所属しています。

会員の皆さんも一步前へ・一段上へ、ロータリー活動に身を入れて、始めうちは半身(はんみ)でもいいですから、とにもかくにも例会へは出る！必ずメイクアップは果たす！ 受けた仕事はきちんとこな

す！ I R I Sクラブでこれから作っていく部会とか、サロン活動には優先的に日程を割いて参加する！ロータリーの云う奉仕活動について勉強する！ などなどの中で、“ロータリーモメント”をいち早く掴んで、“もうロータリーから離れられない”という気持ちをココロに宿してください！！ せっかくロータリークラブへ入ったのですから。